

平成28年 6月29日

お知らせ

【同時資料提供先】岡山県政記者クラブ 岡山市政記者クラブ
倉敷市役所記者クラブ



夏休みを前に岡山三川（旭川・吉井川・高梁川）の水辺
や水面等の「安全利用点検」を実施します。

岡山河川事務所では、夏休み期間中に河川を利用する機会が増えることが予想されるため、旭川・吉井川・高梁川(国管理区間)の水辺や水面等の「安全利用点検」を実施します。

実施に当たっては、事務所職員で安全に河川を利用していただけるよう危険な箇所がないかどうかを点検します。

なお、河川の利用頻度が多い箇所において「水深測定」を実施します。
ただし、増水した場合は取り止めることがあります。

また、昨年の夏休み前安全利用点検と同様、河川維持管理業務に資するシステムであるRMDIS(リマディス(タブレット端末))を活用した点検を実施します(概要は【別添】を参照)。

◆旭川水系 平成28年 7月 6日(水) 9:15~15:00

※出発式を9:15から河川敷駐車場(新鶴見橋下)で実施します(【位置図】参照)。

◆吉井川水系 平成28年 7月 7日(木) 9:20~15:00

◆高梁川水系 平成28年 7月 7日(木) 9:40~15:00

国土交通省岡山河川事務所

問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5101(代)

副所長(技術) 後藤 誠志 (内線204)

管理第一課長 安達 淳 (内線331)

平成28年7月6日(水)「安全利用点検」出発式【位置図】 取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、平成28年7月6日(水)9:15から参加者による出発式を実施しますので、それまでに下記場所(河川敷駐車場)に集合をお願いします。



昨年度の「安全利用点検」(水深測定)実施の様子

RMDISの概要

【別添(1)】

●RMDIS(リマディス)とは

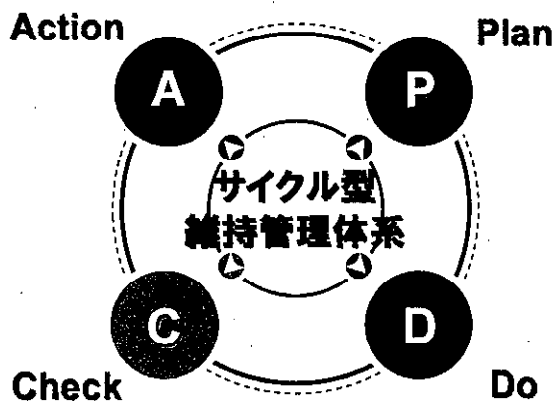
RMDIS = River Management Data Intelligent Systemの略称



河川維持管理業務を支援する仕組みである河川維持管理DBシステムの
全国統一版をRMDISと呼ぶ。

●RMDISの目的

- ① 河川維持管理の現場における河川維持管理業務を着実に、かつ効率的に行うための業務支援。
- ② 現場での河川維持管理のPDCAサイクルによるスパイラルアップの支援、及びこれに基づく技術基準やマニュアル類の充実など、業務の高度化のための知見の効率的な集積。
- ③ 河川維持管理の政策の企画立案に資する基礎的な情報収集の効率化と適切な管理。



RMDISの概要

【別添(2)】

●RMDISの導入により期待される効果

現場

タブレットの導入により、現場監視行為を効率化・高度化

- ① 地図の活用やGPSによって位置情報を把握しながら、的確な周辺状況把握。
- ② 過去の記録や記録項目、関連情報を確認しながら、的確な現場記録を支援。
- ③ 記録と関連付けて写真を撮影。取得データをもとに簡易に日報等を作成。

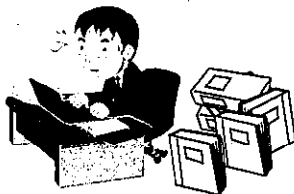
事務所 出張所

維持管理に係るデータの一元管理により、所内の日常業務を効率化・高度化

- ① 台帳や河川カルテを共有化。蓄積したデータをもとに随時更新が可能。
- ② 適宜分析・評価を実施。河川管理レポート等のとりまとめや意思決定を支援。
- ③ 日常業務に係るデータを簡易に検索・確認。探しものに要する時間を軽減。



現場



事務所・出張所

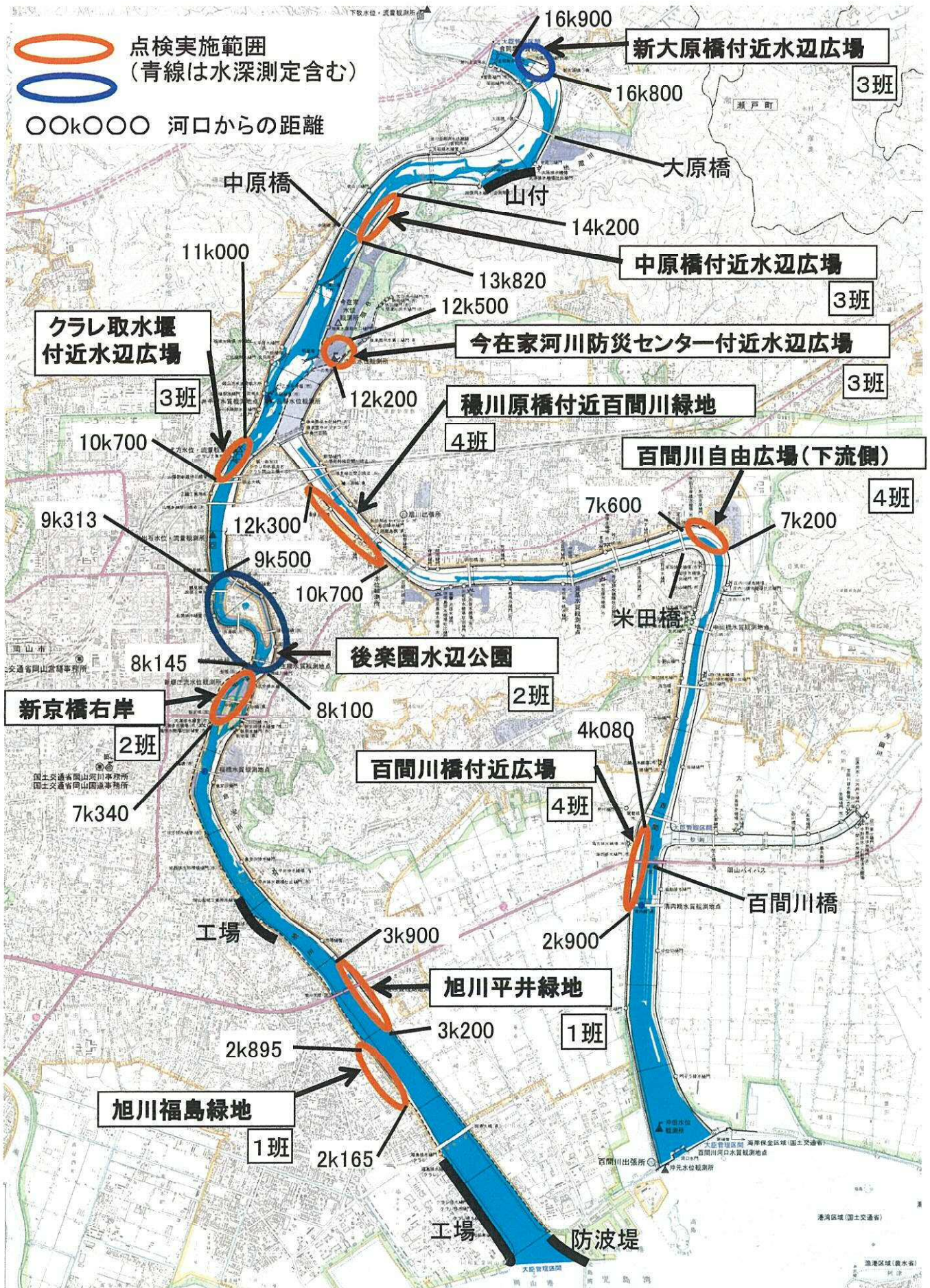


現場

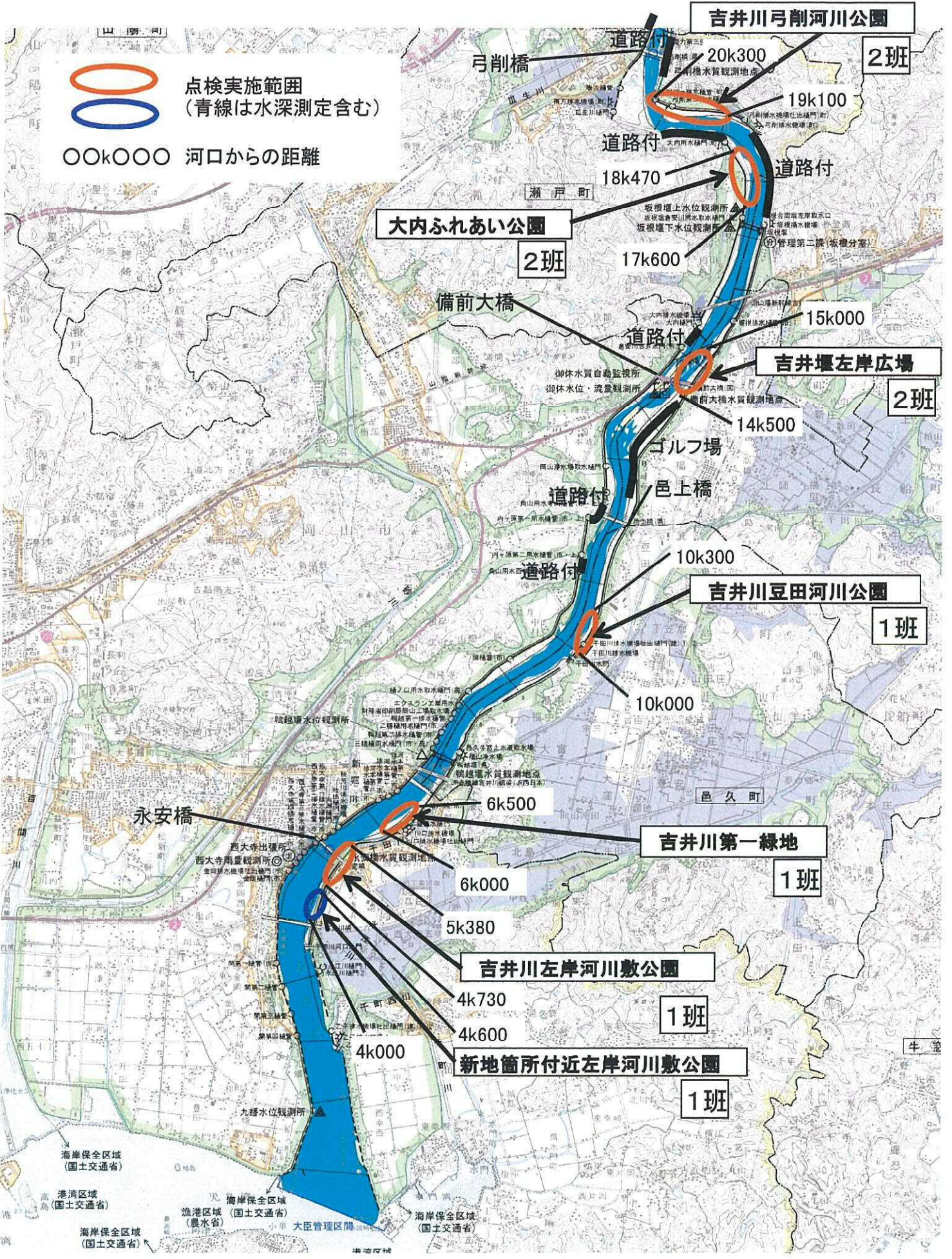


事務所・出張所



夏休み前の安全利用点検 実施範囲図(旭川・百間川): 7月6日(水)

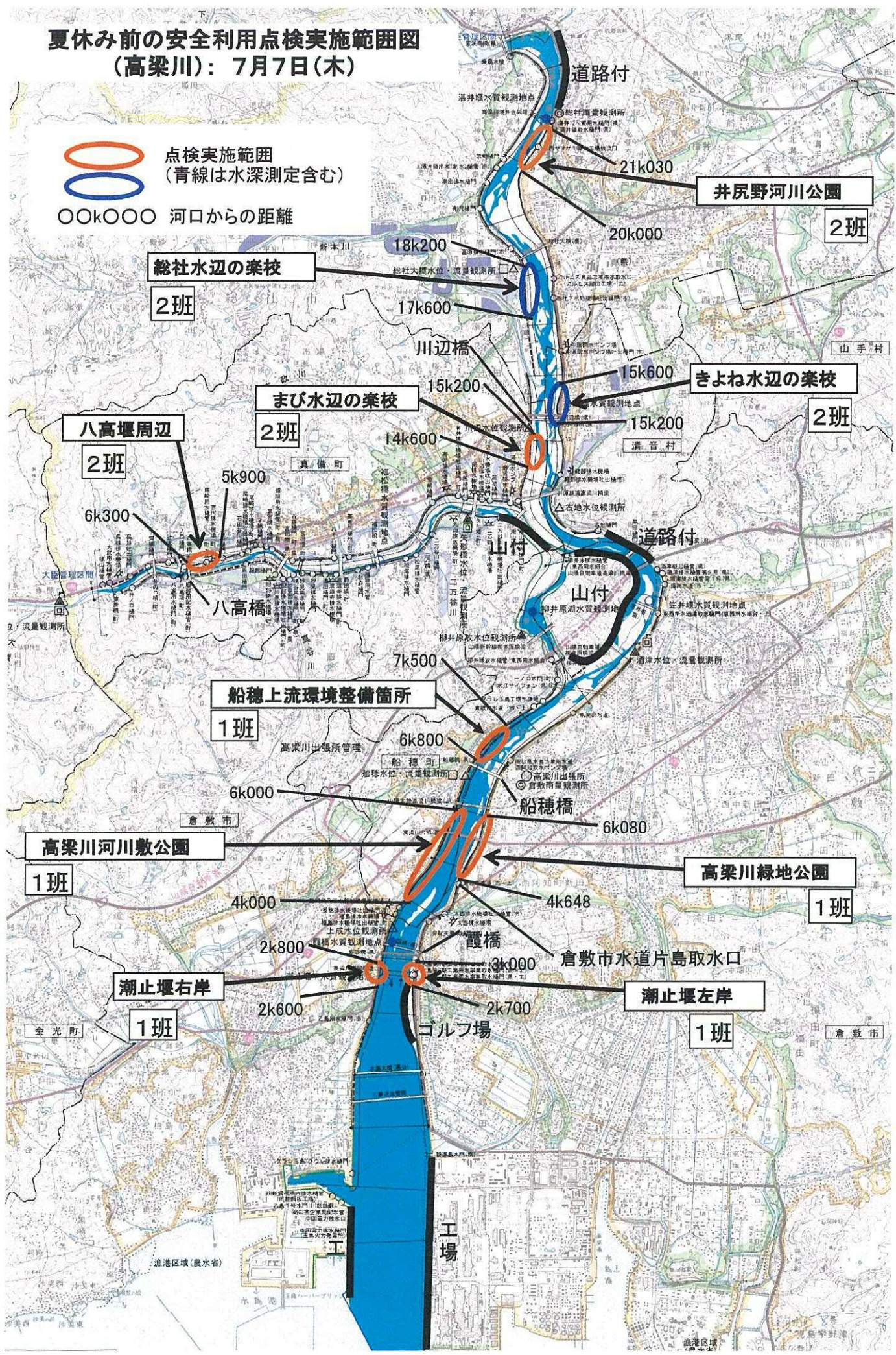


夏休み前の安全利用点検実施範囲図(吉井川下流): 7月7日(木)



夏休み前の安全利用点検実施範囲図 (高梁川): 7月7日(木)


 点検実施範囲
(青線は水深測定含む)

 〇〇k〇〇〇 河口からの距離



総社水辺の楽校
 2班

井尻野河川公園
 2班

八高堰周辺
 2班

まび水辺の楽校
 2班

きよね水辺の楽校
 2班

船穂上流環境整備箇所
 1班

高梁川河川敷公園
 1班

高梁川緑地公園
 1班

潮止堰右岸
 1班

潮止堰左岸
 1班

工場

漁港区域(農水省)

漁港区域